

2016.12月号(第69号) 2016.12.14

師走を迎え、なにかと気ぜわしい毎日ですが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。今月も佐藤ガスをよろしくお願い致します。



10月6日に法人会の会員大会で講師:金美齡氏、テーマ「日本再生始まる 今こそ日本人の心を」の講演を聞いてきました。「**演台の後ろに立つのが嫌い、常に前へ前への精神でいます。**」と言って、講演が始まりました。

10年位前でも台湾は株価は高く、経済の成長率は16%あった、それに比べて日本はずっと低迷している。**日本が再生する為にはメイドインジャパンを大事にする事**で、誰でも出来る事として、**日本産を選んで購入して行く事**から始められる。台湾にも最近、**日本の技術協力**で**新幹線が出来た**けど、車内サービスは日本より良く、飲み物ケーキ付き。でもこれは日本のおもてなしを手本にしたものです。教員として数年滞在していた、列車の発祥地の**イギリス**で**さえ時刻通りに来ない、15分20分遅れるのが当たり前**で、**1分2分遅れてもお詫びの車内放送が流れる日本はそこまでする必要あるのか**と思う程で、日本の当たり前は外国からはびっくりする事だらけ。

伊勢神宮で話しを聞く機会の際に、**伊勢神宮の後ろにある社の森が後120年経てば自前で式年遷宮(20年に一度全ての社殿を造り替える行事)が出来ます**と言った神職の方の言葉に感動した。その言葉は**日本が未来永劫続くと信じているから言える**という事に。

伊勢志摩サミットで来日された**アフリカから来たVIPが志摩に流れている川を見て座り込んで、自分の国にはこんな清らかな川は無い**と言って動かなかったと言う話があった。その位、**日本の当り前は世界では、当たり前では無い**。比較の上では日本は世界一だ。他国と比べれば日本の良さが分かる。

民進党の蓮舫議員の二重国籍問題については、**実は台湾で二重国籍の人は多い**、中東などの情勢が不安定な国の人の中には3カ国4カ国の国籍を持っている人もいる。これも日本と言う国に住んでいる人には分からない事。ただし、日本の国会議員、ましては党首としては許されない。蓮舫議員の台湾の実家は昔バナナの輸出の権利を持っている事で財を築いた富豪で、蓮舫議員は台湾での学生時代は、学校の送り迎えはロールスロイスだった。

最近、甘ったれた日本人が多いと思う。**保育園落ちた日本死ね**と言った人の気持ちは分かる、**けどあまりにも短略すぎる。日本に生まれ日本人である事だけで、どれだけ恵まれているかが分かっていない。**

テレビ番組に出演した時に、ある国会議員が税金を下げる事ばかり話していて、何故一生懸命働いて税金を納める喜びを説かないのか？税金を払えることが幸せだと思えないのか？と言った事がある。貰う事ばかり考えていないで、支える側になる事を考える。

家族の中にでもヒエラルキーがある。人間としては同じでも、立場上の違いは同じでは無い。

自分は、日本の大学の教員時に祖国台湾から蒋介石批判をした為31年間ブラックリストの載りパスポート無しだった。親の葬式にも帰れなかった。**日本がビザの延長をずっとしてくれたから生きている。だから私は日本に感謝している。台湾人は日本の残した、精神、美德を大事にしている。**

日本人はもっと自分が日本に生まれた事の幸運を思い、国が自分に何をしてくれるのか？では無く、自分が国に何が出来るのかを考えるべき。外国から見ると日本はとても恵まれている。

**日本には世界に発信出来るものが沢山あるので自信を持って行きましょう。**と話されていました。

今回は話しの内容をなるべく多く記載したかったので、箇条書きにさせていただきました。

代表 佐藤俊太郎

